

福岡市立三筑小学校父母教師会

〒 8 1 2 - 0 8 8 7 福岡市博多区三筑 2 丁目 9 - 1

T E L 0 9 2 - 5 0 1 - 8 7 4 0

1 会員数及び会費（18年度）

区 分	P 会 員	T 会 員	その他の会員	計
会 員 数	6 3 7 人	3 9 人	0 人	6 9 6 人
一人当たりの会費 (年間)	3 6 0 0 円	3 6 0 0 円	0 円	

2 収支決算

収入の部	会費納入 2, 4 3 4, 5 0 0 円		その他収入 3 3 5, 8 9 3 円	計 2, 7 7 0, 3 9 3 円
支出の部	費 目	支出額	摘要（主な使途）	
	総務費	7 6 0, 3 8 5 円	会議費、慶弔費、事務費、渉外費、常任費 研修費、専門委員会費、広報費、諸負担金 周年事業積立金	
	事業費	1, 0 8 4, 1 9 5 円		
	その他	6 8 6, 2 2 8 円		
	計	2, 5 3 0, 8 0 8 円		

3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
福岡市立三筑小学校父母教師会規約	昭和 5 5 年 6 月 6 日	施 行

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	P T A の沿革（活動のトピックスのみ記載）
昭和 5 5 年 6 月	三筑小学校父母教師会 設立
平成元年 1 0 月	創立 1 0 周年記念式典・記念事業举行
平成 1 1 年 1 1 月	創立 2 0 周年記念式典・記念事業举行
平成 1 4 年 1 0 月	九州 P T A 協議会団体表彰受賞
平成 1 6 年 1 1 月	日本 P T A 全国協議会会長表彰受賞
平成 1 7 年 1 1 月	福岡市教育委員会 P T A 表彰受賞
平成 1 9 年 3 月	P T A 福岡県教育文化表彰受賞
平成 1 9 年 1 1 月	平成 1 9 年度優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

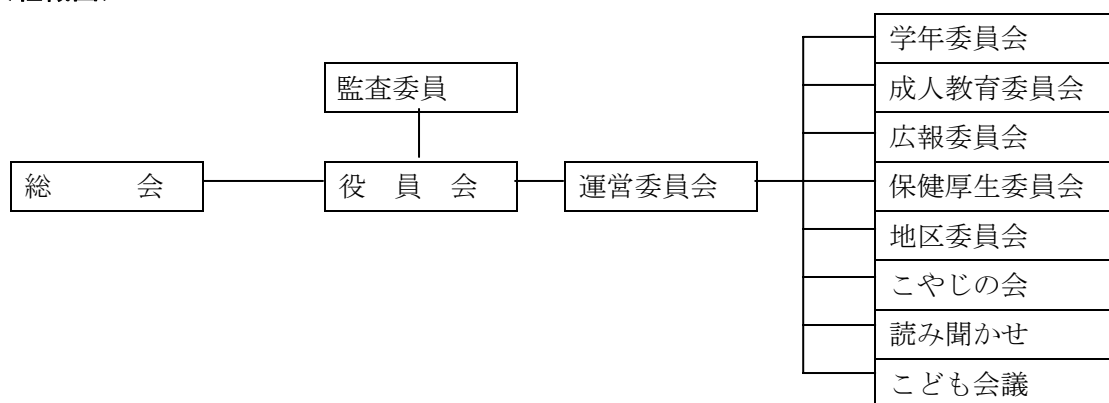
5 地域の概要

本校区は、昭和55年4月1日に板付小学校と那珂南小学校より分離独立し、福岡市立三筑小学校として開校し28年目を迎える。都心への交通至便と自然環境に恵まれていることから落ち着いた住宅地、文教地区として発展を続けている。地理的には、福岡南部に位置し、JR鹿児島本線と筑紫通りにはさまれた諸岡4・5・6丁目、三筑1・2丁目、南八幡町、相生町、南本町の地域からなっている。保護者・地域住民は教育全般に対して関心が深く、小学校教育に対しても理解があり、非常に協力的である。

6 組織運営の状況

本校PTAは、会長1名、副会長3名（男1名・女2名）、書記3名（内1名教師）、会計2名（内1名教師）からなる役員をはじめ、役員会、常置委員会、地区委員会、特別委員会の代表で構成する運営委員会を定期的開催し、連携の取れた組織運営を図っている。

<組織図>



7 広報活動の状況

広報委員会が中心となってPTA新聞「さんちく」を年3回発行。PTA活動や学校教育の様子を紹介、地域活動の紹介や出来事を載せて全家庭へ配布を行っている。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

学校の教育方針や教育活動を理解し共に活動を行っている。その中で大きな成果をあげている活動は「読み聞かせ」である。これはPTAが中心となり授業時間を活用して学年別に定期的に行うことで言語能力のアップになっている。

9 成人教育に関する諸活動の状況

より良いPTA活動を目指し、保護者と教師が協力し合って互いに磨き合い向上心を高める研修の場や家庭の大切さを学ぶ場を作る取り組みを行っている。また成人教育に関するものをまとめた「せいじん号」を発刊し活動を行っている。

1 0 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

地域・P T A・児童、保護者とが三位一体となり校区を流れる諸岡川清掃を年2回おこなっている、これは身近にある川を綺麗にすることの大切さを肌身で感じてもらうということである。地区委員会では「ママさんパトロール」という名称で昼間のパトロールを行い危険な場所を確認し「危険箇所マップ」を作成、「子ども110番の家マップ」を発行している。夜間では、こやじの会メンバーによるパトロールを毎月1回実施している。

1 1 地域の教育環境の整備に関する活動

学校の身近に公民館が隣接したことで、今まで以上に公民館を活用し地域と密着する機会が多くなった。また地域の人たちより「昔の遊び」という題目で地域の方々と一緒に遊び学び引き継いでいくという活動も行っている。

1 2 今後の課題

P T A活動は、地域・保護者・学校との連携も大事であるが小、中学校との連携も非常に大事なのではないだろうか。小学校から中学校への9年間を連携して行くことで長期的な教育が子ども達に対して出来るのではないだろうか、如何にこの連携を行っていくかが大切だと思う。